

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 6章25-34節 (新約聖書10頁)

25 「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。26 空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。27 あなたがたのうちだれが、思ひ悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。28 なぜ、衣服のことで思ひ悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。29 しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。30 今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。31 だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と云って、思ひ悩むな。32 それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。33 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。34 だから、明日のことまで思ひ悩むな。明日のことは明日自らが思ひ悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

何よりもまず

週末、静岡から西へ向かって新幹線で移動していました。ご存じのように静岡県には大きな川がいくつかあります。その一つを通過していた時でした。ある世界的な大企業の工場が車窓から見えました。私は「そうか、同じ静岡にこの企業の工場があったのか」と思ったのです。

その企業のことに注目したのは、もう15年ほど前のことでした。今、日本の人口は減少していますが、世界の人口は増加し続けています。そのため食料不足の問題は深刻です。しかしその食糧不足の原因が政治、金

融、大企業にあることを知り、当時の私はとても驚きました。ジャン・ジグレルというスイスの先生が国連から求められて世界で飢えている人の調査をしました。そして『世界の半分が飢えるのはなぜ』※という本を子どものために書きました。ジグレルは「たとえ世界の人口が倍になっても養えるだけの食料が、今、世界で生産されています。食糧不足の本当の原因は政治の腐敗、金融や大企業が自分の利益だけを求めているからです。必要なものが必要な人に行き渡っていないのです」と言っていました。週末、私が新幹線の車窓で見た工場がその一つでした。

イエスは「天の父は食べるもの、飲むもの、着るものが必要なことはご存じである」と言っていました。そして現代人はそれだけのものを生産する知恵と技術を十分与えられています。でも「神の国と神の義」を求めています。「神の国」というのはどこかにある理想の国ではなく、必要なものを必要な人へ分かち合う愛が広がっていく様子を指します。そして「神の義」とはその愛の関係が祝福されている、天の父にとっての喜びだという意味です。与えられた知恵と技術を用いて、天の父の愛を実現することがグローバル社会の課題です。

4月入学式後の新入生歓迎のティー・パーティーの時でした。英和の卒業生姉妹とご家族が、新入生のために紅茶とコーヒーを用意して下さいました。その時、お父様が「このコーヒーの豆や紅茶の茶葉は、アジアや中南米の農家から輸入している作物や製品です。私は直接農園を訪ねてその価値や労働に見合った適正な価格で取引しています。」と説明されました。「フェアトレード（公正貿易）」で豆や茶葉を輸入していたのです。私はそれを聞いて、英和で学んだ聖書と英語の知恵や技術が卒業生姉妹からご家族に広がり、愛と奉仕の精神が実現したと感じ、コーヒーの香りがより一層辺りに広がったように思いました。

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、わたしたちを励まされる主よ。あなたは「何よりもまず神の国と神の義を求めなさい」と言われました。どうか今日一日もあなたを信じ、互いに必要なものを分かち合い歩ませて下さい。また、今、様々な理由で就学、就労の困難な生徒、教職員のために祈ります。どうかその艱難を耐え、あなたの慈しみを悟り、共に感謝を献げる日をひと時でも早くお与えて下さい。主イエス・キリストによってお願い致します。 アーメン